

学校法人ISI学園 専門学校長野ビジネス外語カレッジ

2023年度 シラバス

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	日本語資格対策Ⅲ		（ NKT220 ）
講義名（コード）	日本語資格対策Ⅲ A		（ NKT220A ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	岩岡 夏子	時間数	30
成績評価教員	岩岡 夏子	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	通常のビジネス会話のみならず、相手の心情を理解し適切な言い回しをすることでコミュニケーション力を高めることができる。
全体の内容と概要	日本語能力試験N2の文法と語彙を学んでいく
授業時間外の学修	新出語彙の意味調べ・既習事項の復習
履修上の注意事項等	JLPT合格に向けて意欲的に授業に取り組むこと

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	実際の試験を理解できる①	模擬試験文字・語彙（2023年JLPT試験7月にむけて）
2	実際の試験を理解できる②	文字語彙FB、模擬試験文法（2023年JLPT試験7月にむけて）
3	実際の試験を理解できる③	文法FB、得点把握、時間配分について学習する
4	ニュースなど情報でよく使われる文型について理解できる①	パワードリル23回演習 文法（たとえば、にもかかわらず、をめぐって、にしては）
5	ニュースなど情報でよく使われる文型について理解できる②	パワードリル24回演習 文法（げ、からすると、ドリルA、B）
6	論説など文章でよく使われる文型について理解できる①	パワードリル25回演習 文法（一方で、どころではない、はさておき、はもとより）
7	論説など文章でよく使われる文型について理解できる②	パワードリル26回演習 文法（を抜きに、っこない、というものは、かいあって）
8	小説でよく使われる文型について理解できる①	パワードリル27回演習 文法（やら、やら、かないかのうちに、ばかりか、以上）
9	小説など文章でよく使われる文型について理解できる②	パワードリル28回演習 文法（ずにはいられない、折に、からして、次第）
10	自分自身の言葉としてよく使う文型について理解できる	パワードリル29回演習 文法（たいものだ、ないものか、だけまし）
11	お知らせや告知文によく使う文型について理解できる	パワードリル30回演習 文法（限り、に先だって、ドリルA、B）
12	まとめ問題で8割正答できる	パワードリル23回～30回まとめ 文法（ドリルC、U1、U2）
13	自分の行動としてよく使う文型について理解できる	ドリル&ドリル1回演習 文法（がたい、得ない、あまり、こととなると）
14	まとめと解説	期末試験
15	まとめと解説	期末試験FB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	スピードマスターN2 文法/パワードリルN2文字・語彙/ドリル&ドリルN2文字・語彙
参考文献・資料等	
備考	